

「もういっぽん！」
柔道部顧問 夏目先生

先生になっ
て

もういっ
ぽん！

大切なのは

柔道がスキ！

そのキモチ

公益財団法人 全日本柔道連盟



あなたも目指してみませんか



力必達

「出会い」という宝物

鳥取県立米子東高等学校

森 大吉

教職を志したきっかけは、優れた指導者やよい仲間たちとの出会いです。特に柔道において、中学・高校を通じて指導者の不在や部員不足など決してよい環境に恵まれなかった私にとって、大学進学後、多くの仲間と切磋琢磨できる場を得たことは、自身自身を大きく成長させる糧となりました。研究に専心しながら稽古にも励んだ経験が、文武両道を心がけ、何事にも前向きに取り組む姿勢を醸成したように思います。

現在は、物理の教科指導をする一方、柔道部顧問として、

全国大会出場を目標に、生徒と共に練習に励む毎日を送っています。そして、そこにはかつての自分のように環境に恵まれない他校生の姿もあります。逆境をものともせず、より高い目標を設定し、学校という枠を超えて共に鍛錬を積みながら、夢を実現していく彼らの姿は、「力必達」そのものです。日々、「順道制勝」の精神で取り組み、成長していく姿を日々、実感できることは指導者として喜びにたえません。

これから柔道をしながら教員への道を志す選手諸君が、稽古や大会を通して、よきライバルや仲間と出会い「社会貢献することのできる人材」を育成できる指導者として成長されることを期待しています。

奥が深く楽しい柔道

北秋田市立森吉中学校

森川 廣光

「柔道は痛いですよね?」「柔道は怪我をしますよね?」はじめて柔道を習う生徒の第一声です。柔道の指導者になりたいという思いを胸に、初めて教壇に立った私にとってこのシヨックは大きかったです。子どもたちの柔道のイメージは、「痛そう」「怪我をする」とのマイナスイメージが8割以上でした。子どもが意欲をもって柔道に取り組むには...?多くの教員は、このは

じめの一步の取り組みの工夫で悩んだことがあるのではないかと思います。

他の先生に相談したり、町道場に見学に行ったりと試行錯誤した授業は、幸いにも無事故・無負傷が続いています。生徒からは、「楽しかった」「全然痛くない」「これが柔道か」と嬉しい言葉が多数ありました。また、柔道の授業を通して、年度の途中にもかかわらず柔道部に入部した女子もいて、心の底から喜びました。更にその子が県大会でまさか優勝し、ひっくり返りました。中学校は楽しいです。



教職は一生の仕事です